

令和4年新年のごあいさつ



公益社団法人
鹿児島市歯科医師会 会長

下田平 幸 一

新年あけましておめでとうございます。

鹿児島市医師会の先生方には、つつがなく新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

昨年中は市医師会の先生方には、市歯科医師会の会員がいろいろお世話になりましたこと心より御礼申し上げます。

今、世の中はコロナウイルス感染症に翻弄されています。日本で初めて新型コロナウイルス感染症が確認されたのが令和2年1月16日、2月初めにクルーズ船のダイヤモンドプリンセスで集団感染が判明し、コロナに感染すると大変だと認識され、3月29日にタレントの志村けんさんが死亡されコロナの怖さを知ることになりました。それから緊急事態宣言が5回発令され、市民生活は制限され、国民は不自由な生活を1年半以上いられています。もちろん私ども鹿児島市歯科医師会でもその間、歯と口の健康週間などほとんどの事業は中止になっています。

今日までに全国では170万人余りが感染しましたが、鹿児島では11月になって感染者はほとんど出ていません。ワクチン接種の効果もあって第5波は終息に向かい感染者数はかなり落ち着いてきました。一説によると、第5波がこんなに急速におさまってきたのはデルタ株でゲノムの変異を修復する酵素が変化し自滅する可能性があるとのことでした。も

しそうであればコロナの騒動は終息するのですが。ワクチンの2回接種は11月末には完了するそうで12月になると3回目の接種が始まりそうです。しかしこれから冬にかけて第6波がくると予想されており、それに加えてインフルエンザの流行の時期と重なるので非常に心配です。ところで歯科治療は、歯科医の顔と患者の口が非常に近いことから最も感染しやすい環境と思われていましたが、歯科医院でのコロナの感染はまったくありません。私たち歯科医師は歯科医院では感染予防を徹底しているからといわれています。

私どもの新しい事務局が完成してまる1年たちました。コロナの影響であまり利用されていませんが、使い勝手はいいです。早く以前の様な活動ができ新会館が活用できるのを願っているところです。

最後に、本年はコロナも収まって普通に生活でき、会の事業も行えることを期待し、また市医師会の先生方にとってすばらしい良い年になりますよう祈念いたしまして新年の挨拶とさせていただきます。